

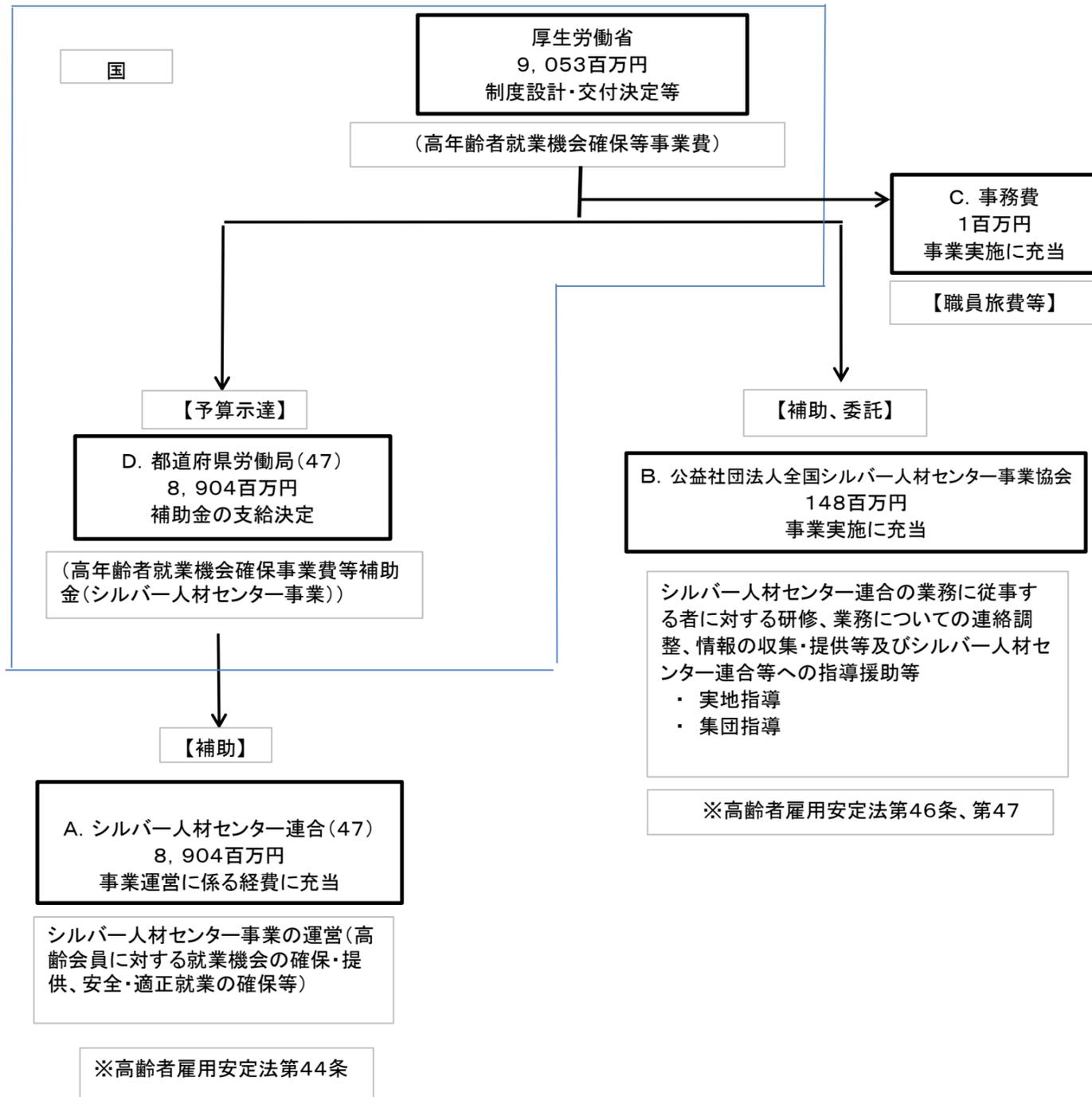
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	高齢者就業機会確保等事業費		担当部局庁	職業安定局高齢・障害者雇用対策部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和55年度(開始)・終了年度未定		担当課室	高齢者雇用事業室		高齢者雇用事業室長 吉野 彰一	
会計区分	一般会計		政策・施策名	IV-3-1 高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	高齢者等の雇用の安定等に関する法律 第40条から第48条		関係する計画、通知等	高齢者等職業安定対策基本方針(平成21年4月1日付厚生労働省告示第252号)、高齢者就業機会確保事業(公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会)の実施について			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	定年退職後等の高齢者の多様な就業のニーズに応じ、地域社会の日常生活に密着した臨時的かつ短期的又は軽易な就業機会を確保・提供し、併せて高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進による地域社会の活性化を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	高齢者等の雇用の安定等に関する法律(以下「高齡法」という。)第44条に基づき、都道府県知事の指定を受けたシルバー人材センター連合の運営に必要な経費について地方公共団体の補助金額を上限として補助する。さらに、シルバー人材センター事業の健全な発展を図るとともに、適正な運営の確保等を目的として高齡法第46条に基づき厚生労働大臣の指定を受けた法人(全国シルバー人材センター事業協会)に対する補助(補助率1/2相当)を行う。また、シルバー人材センター事業の適正な運営を図るため、シルバー人材センター連合の管理運営等に関する実地指導、相談援助等を実施することにより、高齢者の就業機会の確保などに資するものである。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	11,501	9,197	9,235	9,049	11,328
		補正予算					
		繰越し等					
	計	11,501	9,197	9,235	9,049	11,328	
	執行額	11,399	9,052	9,053			
執行率(%)	99.1%	98.4%	98.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	就業率80%	成果実績	%	81.7	82	82.7	80
		達成度	%	102.1%	102.5%	103.4%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	会員数	活動実績 (当初見込み)	人	786,906	762,038 (786,906)	743,969 (762,038)	— (743,969)
		訪問個別指導(シルバー人材センター連合本部)	団体	16	16 (16)	16 (16)	— (16)
	就業延人員数	活動実績 (当初見込み)	人日	70,406,549	69,481,844 (70,406,549)	68,952,969 (69,481,844)	— (68,952,969)
		契約金額	活動実績 (当初見込み)	千円	306,633,429	301,683,544 (306,633,429)	298,227,920 (301,683,544)
単位当たりコスト	131.3 (円/人日)		算出根拠	補助金執行額(24年度実績)/就業延人員数(24年度実績) 9,052,856,204円/68,952,969人日			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	都道府県シルバー人材センター連合運営費	7,179	7,107	・運営費補助の効率化をしたことによる減			
	企画提案方式による事業	756	0	・廃止による減			
	シルバー人材センター事業機能強化推進事業	961	0	・廃止による減			
	全国シルバー人材センター事業協会に対する補助	58	58				
	高齢者就業機会確保事業指導費	94	94				
	生涯現役社会活躍応援事業	0	4,070	・新規計上したことによる増			
計	9,049	11,328	※内訳は百万円以下を四捨五入しているため、内訳の合計と計欄の額は一致しない。				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国 必 費 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	昨今、高齢者の就業意欲が向上してきており、また、高齢法第40条により、高齢者等の就業機会の確保のために必要な措置を講ずるよう努力する義務が国と地方自治体に課せられている。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	高齢法第40条により、高齢者等の就業機会の確保のために必要な措置を講ずるよう努力する義務が国と地方自治体に課せられており、国と地方自治体で連携して推進していくものである。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	高齢法第41条により、高齢者の就業機会を確保する事業として位置づけられており、就業率も目標を達成できていることから優先度の高い事業である。		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	昨年度とほぼ同水準となっており、水準は妥当と考える。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	当室において、交付申請書等を確認の上、交付決定、確定を行っており、合理的な内容になっている。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	交付申請書等を事業の趣旨に照らして妥当なものかどうか確認し、交付決定、確定精算を行っており、事業目的に沿った支出となっているか精査している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	「高齢者雇用確保措置」の影響等により、一部指標で見込みを下回った。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	平成24年度については、会員の就業率が82.7%と目標(80%)を達成している。 事業の実施に当たっては、定期的に連絡会議を開催し、事務の進捗状況等について把握するとともに必要な指導を行うとともに、提出された精算報告書によりその内容を確認するとともに、経費の妥当性などについても是正を行っているところである。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通 り	高齢者就業機会確保等事業費は概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 状 通 り	-					
備考						
<p>○行政刷新会議事業仕分け第1弾(平成21年11月13日) <事業番号/事業名> 2-22/シルバー人材センター援助事業 <結果> 予算要求の縮減(1/3程度を縮減) <とりまとめコメント> ・予算要求の1/3程度を縮減する。 ・全国シルバー人材センター事業協会を廃止するという意見もあったので、ぜひ検討いただきたい。 ・昭和55年度から長く続いてきた事業で、1/2の補助が非常に大きな既得権益になっているという問題点がある。 ・民業圧迫の実態調査を直ちに行うべきとの意見も出されているので、ぜひ取り組んでいただきたい。</p> <p>○行政刷新会議事業仕分け第3弾(平成22年11月15日) <事業番号/事業名> A-4/シルバー人材センター援助事業 <結果> 事業仕分け第1弾の評価結果の確実な実施 第1弾評価結果: 予算要求の縮減(1/3程度を縮減) <とりまとめコメント> ・事業仕分け第1弾の評価結果を確実に実施していただきたいという評価結果とする。 ・多くの評価者からあったように、「会員いじめ」をまったく考えておらず、あくまで間接コスト、人件費に着目すべき。 ・各都道府県のシルバー人材連合、各地域のシルバー人材センターにおける間接コストの削減努力が不十分である。 ・全国シルバー人材センター事業協会については、役割は終えている。廃止の方向だという意見も何名かの評価者からいただいた。</p>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	359,938	平成23年	326,810	平成24年	283

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.公益財団法人東京しごと財団			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
運営費	職員基本給等	508			
計		508	計		0
B.公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
指導経費	委託事業実施にかかる経費	91			
人件費	職員基本給、社会保険料等	27			
情報提供費	ソフト改善費、システム運用費等	11			
連絡調整費	旅費、通信運搬費等	9			
一般運営費	光熱水料、賃借料等	8			
研修経費	旅費、会場借料等	2			
計		148	計		0
C.事務費			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事務費	職員旅費等	1			
計		1	計		0
D.東京労働局			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	シルバー人材センター事業の運営補助	508			
計		508	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人東京しごと財団	シルバー人材センター事業の運営	508	/	/
2	財団法人いきいき埼玉	シルバー人材センター事業の運営	489	/	/
3	公益社団法人愛知県シルバー人材センター連合会	シルバー人材センター事業の運営	454	/	/
4	公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会	シルバー人材センター事業の運営	386	/	/
5	公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会	シルバー人材センター事業の運営	375	/	/
6	公益社団法人大阪府シルバー人材センター協議会	シルバー人材センター事業の運営	360	/	/
7	公益社団法人静岡県シルバー人材センター連合会	シルバー人材センター事業の運営	298	/	/
8	社団法人北海道シルバー人材センター連合会	シルバー人材センター事業の運営	279	/	/
9	公益社団法人茨城県シルバー人材センター連合会	シルバー人材センター事業の運営	274	/	/
10	公益社団法人千葉県シルバー人材センター連合会	シルバー人材センター事業の運営	272	/	/

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会	シルバー人材センター連合の管理運営等に関する実地指導等	91	随意契約	/
2	公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会	シルバー人材センター連合の業務に従事する者に対する研修、業務についての連絡調整、情報の収集・提供等	57	/	/

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京労働局	シルバー人材センター事業の運営補助	508	/	/
2	埼玉労働局	シルバー人材センター事業の運営補助	489	/	/
3	愛知労働局	シルバー人材センター事業の運営補助	454	/	/
4	福岡労働局	シルバー人材センター事業の運営補助	386	/	/
5	兵庫労働局	シルバー人材センター事業の運営補助	375	/	/
6	大阪労働局	シルバー人材センター事業の運営補助	360	/	/
7	静岡労働局	シルバー人材センター事業の運営補助	298	/	/
8	北海道労働局	シルバー人材センター事業の運営補助	279	/	/
9	茨城労働局	シルバー人材センター事業の運営補助	274	/	/
10	千葉労働局	シルバー人材センター事業の運営補助	272	/	/